

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査

## 本校児童の学力・学習状況の分析及び改善策について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、8月29日配付の学校だよりで今年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要についてお知らせしておりましたが、さらに詳しい状況分析及び改善策についてお知らせをいたします。

本校では、結果の分析から得られた課題の改善に努め、子どもたちに確かな学力を身に付けさせてていきたいと考えておりますので、引き続きご家庭のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

## 1. 平均正答率からの分析

## (1) 本校児童の教科別理解度（全国平均正答率との比較）

| 教科 | 国語     | 算数       | 理科     |
|----|--------|----------|--------|
| 結果 | 上回っている | やや上回っている | 上回っている |

## (2) 本校児童の領域別理解度（全国平均正答率との比較）

## 2. 各教科の分析と改善策

| 国語 | 分類     | 学習指導要領の内容 |           |              |           |        |
|----|--------|-----------|-----------|--------------|-----------|--------|
|    |        | 知識及び技能    |           | 思考力・判断力・表現力等 |           |        |
|    |        | 区分        | 言葉の特徴や使い方 | 情報の扱い方       | 話すこと・聞くこと | 書くこと   |
| 結果 | 上回っている | 下回っている    | 上回っている    | 上回っている       | 上回っている    | 上回っている |
| 算数 | 分類     | 学習指導要領の領域 |           |              |           |        |
|    | 区分     | 数と計算      | 図形        | 変化と関数        | データの活用    |        |
|    | 結果     | やや上回っている  | 上回っている    | やや上回っている     | やや上回っている  |        |
| 理科 | 分類     | 学習指導要領の領域 |           |              |           |        |
|    | 区分     | エネルギー     | 粒子        | 生命           | 地球        |        |
|    | 結果     | 上回っている    | 上回っている    | 上回っている       | 上回っている    |        |

## 【国語】

本校の国語の平均正答率は、全国・全道を上回る結果となりました。分類の思考力、判断力、表現力のうち「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は、全国正答率より上回りました。一方、知識理解の「情報の扱い方」は全国の正答率より下回っており、本校の課題と捉えております。問題形式ごとにみると、解答が記号等を選択する「選択式」に比べ、単語を記入する「短答式」や記述式では低い正答率がありました。設問の内容を理解し切れていないことや、文字数などの条件を満たして書くことに課題があると捉えております。

## &lt;国語：今後の授業・指導の改善点&gt;

- ◆与えられた条件を整理し、解答に必要な条件を理解できるようにします。
- ◆与えられた条件の中で文を書くことができるようになります。
- ◆人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようになります。

## 【算数】

本校の算数の正答率は、全国をやや上回り、全道を上回る結果となりました。領域ごとに見ていくと「図形」が全国を上回った結果となり、「数と計算」「変化と関数」「データの活用」は、やや上回りました。全ての領域で全国以上でしたが、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の領域が他の領域と比べ正答率が低くなっていました。また、「図形」の性質については基本的事項の定着が十分でしたが、学んだことを日常の場面で活用する力に課題があると捉えております。また、設問から得られる情報量が多いいため、何を問われているのかを捉え、解くために必要な数値を選択する等に苦慮している児童が多いことがわかりました。

## ＜算数：今後の授業・指導の改善点＞

- ◆ 「数と計算」領域を中心に、既習事項の定着と活用をできるようにしていきます。
  - ◆ グラフ・表の読み取りを言語化して説明できるようにしていきます。
  - ◆ データや情報を整理し、立式できるようにしていきます。
  - ◆ 算数用語や概念を理解し、それを利用できるようにしていきます。

## 【理科】

本校の理科の正答率は、全国・全道を上回る結果となりました。領域ごとに見ていくと「エネルギー」・「粒子」・「生命」・「地球」を柱とする領域すべてにおいて全国を上回る結果となりました。知識・技能の問題が全体として正答率が高く、思考する問題で少し正答率が下がりました。3年生で学習した内容を忘れている問題もありました。復習を通して履修事項を再確認していくことが必要だとわかりました。

### ＜理科：今後の授業・指導の改善点＞

- ◆ 「物質とエネルギー」領域を中心に、既習事項の定着と活用ができるようにしていきます。
  - ◆ 顕微鏡の操作など、実験器具の使い方の定着を図ります。
  - ◆ 日常生活における理科のものの見方と考え方を働かせる授業展開を図ります。

※ 各教科で本校児童にとって特徴的な結果の見られた問題を紹介していますのでご覧ください。

## 正答率の低い問題【国語】

## ●1 話すこと・聞くこと【思考・判断・表現】

【話し合ひの様子】の小林さんは、インターネットのように迷ひようと考えて、――部の発見しました。最も適切なもの。次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

1 複数の質問のあがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

2 複数の質問のあがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。

3 複数の質問を聞かづけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。

4 複数の質問を聞かづけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出すようとしている。

小森さん 貸すことを整理するために、話し合ったことを記録する。  
するね。私は、運転士さんとみんなことを大切にすることを大にしているから、運転士さんと一緒に、安全を大切にしていきたいな、きっと、乗客の安全を大切にしていきたいと思う。

清川さん ほくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることの大切にしていると思う。

町田さん 安全を考えてから時間と守ることは、大変そうだよね。

小森さん 確かに、大変そうだね。『仕事で大大切にしていること』を聞くと、『仕事で大変なこと』を聞くのがけいけど、『仕事で大変なこと』を聞くのがけいけないと思うよ。

浦川さん バスの運転士は、差しきだかど思っていたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたい。

町田さん きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

浦川さん ほくもそう思うな。大切にしていることやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。二二二号の話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この他の方でいいかな。

[ 11 ]

趣旨：目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。

前述の町田さんの発言内容を読み取ることができなかった誤答が半数。町田さんの発言内容から「複数の質問を関連付ける」というところまでは捉えられたが、小森さんの「大切にしていることをきっかけに大変なこと」という発言から、インタビューで「より深く聞きたいことを引き出そうとしている」ことは、捉えられなかった誤答が半数ありました。

話し合いの場面において、それぞれの話し手の話の内容をとらえるようにしていきます。

## ●2 書くこと【思考・判断・表現】

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。



物を包む使い方

●上の用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。  
解説は、解説用紙に書きましょう。  
●の印から横書きで書きましょう。どちらで行を変えないで、  
続けて書きましょう。

【調べたこと】

(条件)  【からし】の——部を書き直し、くわしくすること。  
 【調べたこと】の「本を読んで分かったこと」と「使ってみて分かったこと」のそれぞれから  
 言葉や文を取り上げて書くこと。  
 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【調べたこと】

(本を読んで分かったこと)

- ブックカバー
  - ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
  - ・本の大きさに合わせて包むことができます。
- ペットボトルカバー
  - ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができます。

【使ってみて分かったこと】

- ブックカバー
  - ・よがれがつくのを防ぐことができてよかったです。
  - ・落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
  - ・水できが荷物につかなくてよかったです。
  - ・温かい飲み物が冷めにくかったです。



山田さんは、「からし」の書き直しについて友達に相談し、「からし」の——部をくわしく書いた  
ほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように  
書き直しますか。どの条件に合わせて書きましょう。

趣旨：目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る。

記入した児童の中で、決められた三条件のうち、「60字以上」という条件は全員がクリアできていますが、「傍線部の書き直し」という内容条件や「2観点から言葉や文を取り上げる」という引用条件を満たしていない児童が多かったです。また、一つの観点を記入するだけで、文字数制限に達してしまった児童もいました。

資料や与えられた条件にそって、字数を意識しながら文章を書くトレーニングをしていきます。

### ●3 読むこと【思考・判断・表現】

趣旨：目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかを見る。

文章中のどの部分が図表の内容と結び付けられているかを捉えられない児童が多かったです。

## 正答率の低い問題【算数】

### ●1D データの活用【思考・判断・表現】

(2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロックリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、右のグラフ2とグラフ3を見つけました。



グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか1つのグラフを見れば、都道府県Aのブロックリーの出荷量が、増えたかどうかがわかります。

2023年の都道府県Aのブロックリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。

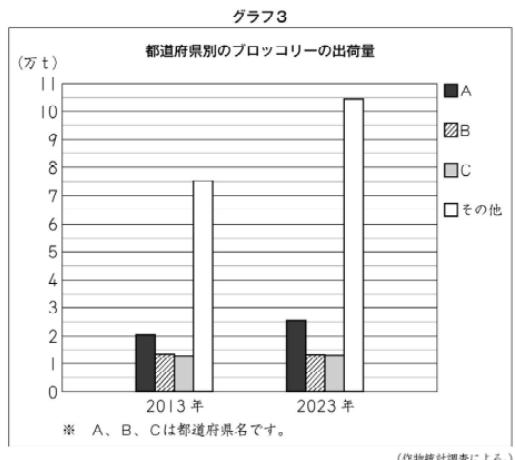
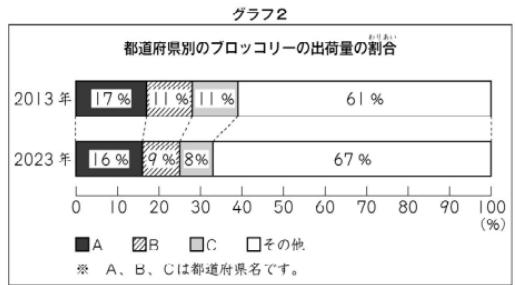
また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしましょう。

ア 2023年は2013年より増えた。

イ 2023年は2013年より減った。

**趣旨:**目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかを見る。

5年生で学習した、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択し判断することができていない児童が多かった。データ分類の仕方を復習していきます。



### ●2 B 図形【思考・判断・表現】

(4) わかなさんたちは、図3のような五角形アイウエオの面積の求め方を考えています。

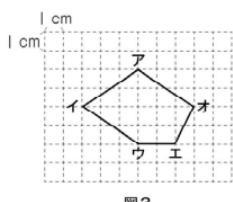


図3

わかなさんたちは、三角形や四角形の面積の求め方が使えるように、図3の五角形アイウエオを、2つの図形に分けようとしています。



私は、直線イオをひいて2つの図形に分けようと思います。



私は、直線ウオをひいて2つの図形に分けようと思います。

わかなさんとゆうさんのどちらの分け方でも、五角形アイウエオの面積を求めることができます。

五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めるとき、あなたならどちらの直線をひいて求めますか。2つの図形に分ける1本の直線を、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、2つの図形の面積がそれぞれ何cm<sup>2</sup>になるのか、それらの求め方を、図3の中から必要な長さを調べて、式や言葉を使って書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。

1 直線イオ

2 直線ウオ

※ 必要ならば、下の公式を使って考えてもかまいません。

- 長方形の面積=たて×横  
=横×たて
- 正方形の面積=1辺×1辺
- 平行四辺形の面積=底辺×高さ
- 三角形の面積=底辺×高さ÷2
- 台形の面積=(上底+下底)×高さ÷2
- ひし形の面積=対角線×対角線÷2

**趣旨:**基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかを見る。

5年生で学習した面積の公式を適切に利用して説明することができない児童がいました。公式の復習をしていきます。

### ●3 A 数と計算【思考・判断・表現】

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめていきます。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。  
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2+1を使って考えることができます。

趣旨:分数の加法について、共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つかを数や言葉を用いて記述できるかどうかを見る。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。  
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

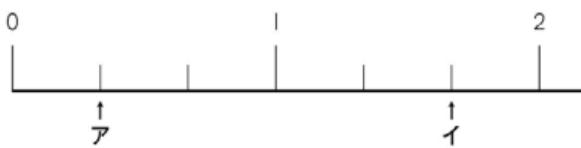
$\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ の共通する単位分数は $\frac{1}{12}$ であるが、それぞれの分母の最小公倍数のみを着目し、12と答えてしまった児童がいました。  
ケアレスミスをなくすよう、問題を振り返る時間を確保できるようすすめています。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にすると、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

### ●3(3) A 数と計算【知識・技能】

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



趣旨:数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つかとして捉えることができるかどうかを見る。

1目盛りが $\frac{1}{3}$ と気づけたが、イは1と $\frac{1}{3}$ が2つ分で、 $1\frac{2}{3}$ とするところを $\frac{2}{3}$ と答えてしまった児童がいました。見直しする時間を確保するようすすめます。

### ●4(2) A 数と計算【思考・判断・表現】

(2) 学校の手洗い場に、別の容器に  
入っている使いかけのハンドソープが  
あります。



次に、あさひさんたちは、そのハンド  
ソープを空になるまで使うとしたら、  
あと何プッシュすることができるのか  
を考えています。



新品だったらハンドソープの液体が何mL入っているのか  
は、はっきりわかるけれど、使いかけのハンドソープの液体が  
何mL入っているのかは、すぐにはわかりません。



ハンドソープの液体の重さをはかって調べられないでしょうか。

5年生で学習した平均の求め方を忘れている児童が多かったです。平均は、合計÷個数で求めるが、何を合計とするかを捉えることができなかつた児童がいました。類似した問題の復習をしていきます。

このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは270gでした。  
使いかけのハンドソープが空になるまであと何プッシュすることができるのかを知るために、270gの他に何がわかれればよいですか。

下のアからエまでのなかから2つ選んで、その記号を書きましょう。  
また、その2つと270gを使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。

|                       |      |
|-----------------------|------|
| ア 新品のハンドソープの重さ        | 360g |
| イ ハンドソープの容器の重さ        | 60g  |
| ウ 1プッシュ分のハンドソープの液体の重さ | 3g   |
| エ かんなさんが1日に手を洗う回数の平均  | 7回   |

趣旨:伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかを見る。

## ●4(4) C 変化と関係【思考・判断・表現】

(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10 %増量」と書かれています。

増量前のつめかえ用のハンドソープの量は 800 mL です。  
(800 mL) 倍

趣旨:「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかを見る。

増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。

上の 倍 にあてはまる数を、下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.1
- 2 1.1
- 3 10
- 4 110

5年生で学習した百分率を正しく理解できていない児童が多かったです。10%増量したことで増量前の 110%に当たることは理解しているが、それが何倍に当たるのかを理解することが必要でした。

## 正答率の低い問題【理科】

### ●2 (1) A物質とエネルギー【知識・技能】

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

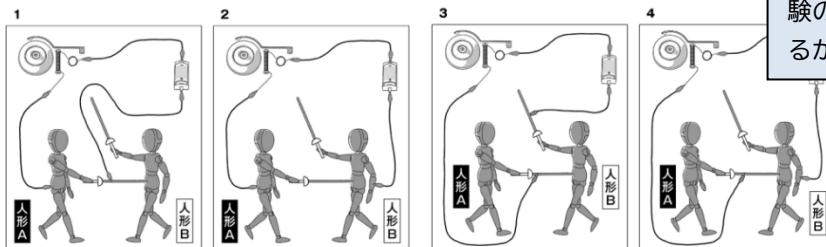
- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

趣旨:身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかを見る。

3年生で学習したことを忘れている児童が多かったです。鉄だけが電気を通し磁石に引き付けられることを復習していきま

### ●2 (2) A物質とエネルギー【思考・判断・表現】

(2) 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

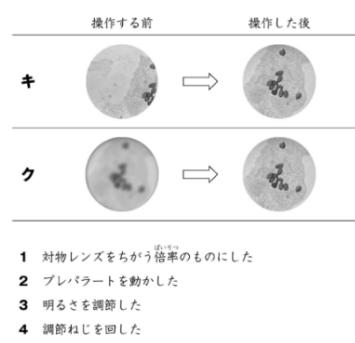


趣旨:電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかを見る。

問題の「電気を通さない持ち手」を見逃している児童が多く、混乱したと思われます。条件になる図や文をしっかり確認することができればできる問題でした。

## ●3 (2) B 生命・地球【知識・技能】

(2) けんび鏡を操作したとき、キとクのように、操作する前と後で見え方が変化しました。キとクはどのような操作をしたのか、以下の1から4の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。



趣旨：顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる。

顕微鏡を操作した実験から答えを導き出す問題でした。しかし今までの操作回数が少なかつたことや倍率が上がると花粉の大きさが変わることなど、復習をしていきます。

## ●4 (1) A 物質・エネルギー【思考・判断・表現】

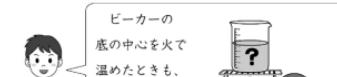
趣旨：水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだし際、解決するための監察・実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる。

4

ひろみさんとゆういちさんは、ポットの水をガスコンロの火で温めていると、水の中でモヤモヤしたものが、上へ動いていくように見えることに気づきました。



ビーカーの底のはしを火で温めて、水の温まり方を調べたね。そのときは、水の温度と、水の動きを調べ、水の温められた部分が上へ動き  
全体が温まる学習したよ。



【問題】を解決するために、下のような【方法】で実験をしました。

【方法】

- ① 500 mLのビーカーに300 mLのお湯を入れる。
- ② ①に味噌を少量入れ、よく混ぜてからしばらく置いて冷ます。
- ③ 実験用ガスコンロでビーカーの底の中心を温め、味噌の動きを見る。
- ④ 味噌の動きを確かめられたら、火を消す。

【結果】温める前のようす

温めたときのようす



ゆういちさんは、【結果】をもとに【問題に対するまとめ】を考えました。

【問題に対するまとめ】

実際の実験ではサーモインクやサーモテープを使用することが多く、色の変化に意識しまう児童が多い結果だと思われます。前に行った実験との関連を考えながら次の実験をする経験を多く持ちます。

【問題】

ビーカーの底の中心を温めたとき、水はどのように温まるのだろうか。

【結果】

たまには、そのようなまとめはできないと思つた。  
この実験では、水の(ア)について調べていないのだから。

(1) 上のふきだしの(ア)にあてはまることばを書きましょう。

## ●4 (3) A 物質・エネルギー【思考・判断・表現】

### 理科学習まとめ



気温が高くなつて起つたと考えられること

日本の北にある  
オホーツク海で見られる氷が  
最も広がつたときの面積は、  
1971年から2023年の間で  
10年あたり5.5万km<sup>2</sup>  
の割合で減少した

- 1 海水は、温まると水と同じように体積が増える
- 2 海の水は、平均気温が高くなるとできにくくなる
- 3 水は、高い場所から低い場所へと流れる
- 4 水は、水になるとき体積が増える

趣旨：水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる。

学習したこと  
をもとに考えたこと

(ア)

学習したこと

水は、冷えると  
0℃で氷に変わる

学習したアホを

4の解答が多かったです。「水は冷えると0℃で氷に変わる」を根拠に考え、面積が減つたことの理由を考えるところ、「水は、氷になると体積が増える」という根拠に引っ張られて解答したと思われます。「平均気温が高くなるとできにくくなる」が「面積が減る」と関連づけることが難しかったと思われます。

# 児童生徒質問紙調査の結果及び改善策

## 1 全国平均を上回っている項目で特徴的なもの

| 項目   |
|--|
| これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか                              |
| 5年生までに受けた授業で PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか                        |
| あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができると思いますか                     |
| 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか      |
| 国語の勉強は得意ですか  |
| 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか |
| 算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか                              |
| 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか                                |
| 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか                                     |
| 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか                   |
| 理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか                       |
| 理科の授業で観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返って考えていますか                           |
| 健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか              |

## 2 全国平均を下回っている項目で特徴的なもの

| 項目  |
|---|
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか  |
| 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できていますか                         |
| 自分と違う意見について考えるのは楽しいですか  |
| 友達関係に満足していますか   |
| 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか                  |
| 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか |
| あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除きます）                      |
| 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか        |
| 算数の勉強は得意ですか   |

○タブレット使用に関する項目はほとんど全国平均を大きく超えています。普段の学習では毎日使う授業構成になっていること・ICTを有効に使用した対話活動を研修部が中心となって進めている効果だと考えられます。「分かりやすく伝える手段」「自分のペースで進められる個別最適な学び」「友達との協働活動」などより効果的にタブレットを使用し学習効果を高めていく必要があります。

○土日、1時間以上2時間未満の勉強をしているという回答が1番多く、全国比より低かったものの家庭学習時間の定着が見られます。タブレット使用も「授業時間以外に使用している」項目が全国比より低いことから、家庭学習等の時間の中で内容を充実させることが大切だと考えます。「家庭学習を全くしない」という回答が0%だったことから前年度より改善されていますが、引き続き家庭学習の啓蒙活動と内容の充実に向けて良いノートの交流など具体的に子どもたちと取り組んでいきます。

○「自分にはよいところがあるか」という質問では、「どちらかといえば」も含めると、9割近くが自分のよさを捉えており、自己肯定感をもっている子が多くいます。また「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「友達関係に満足している」の質問に対しても、「どちらかといえば」も含めると9割近くが「当てはまる」と回答していました。周りの人たちに対してよい人間関係が築けている子が多くいることがわかりました。